

2024年度通常総会資料

日時 2024年2月17日(土)

場所 TKP東京駅カンファレンスセンター
会員各位のご自宅等

一般社団法人札幌農学同窓会 東京支部

2024年度通常総会議事次第

1. 開 会

2. 理事長挨拶

3. 議事録署名人の選出

4. 審議事項

(1) 第1号議案 2023年度事業報告及び収支決算・監査報告

(2) 第2号議案 2024年度事業計画(案)及び収支予算(案)

(3) その他

5. 報告事項

(1) 2024年度東京支部役員(理事・監事・顧問)

(2) 会費納入状況(年度別、支部別)、東京支部納入率

(3) 2024年度東京支部講演会について

日時: 2023年2月17日(土) 13時30分～14時45分

場所: TKP東京駅カンファレンスセンター・カンファレンスルーム2A、
会員各位のご自宅等(Zoom接続)

講師: 北海道大学大学院農学研究院教授、同大学院国際食資源学院長
同北海道ワイン教育研究センター長 曾根 輝雄 先生

演題: 『地域のサステナビリティ向上のためのワイン教育研究(仮題)』

6. 閉 会

【第1号議案】

一般社団法人 札幌農学同窓会東京支部 2023年度事業報告

新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことも踏まえつつ、札幌農学同窓会東京支部として会員相互の交流及び知識の向上を図るため、2023年度において以下の事業を実施した。なお、新型コロナの影響による活動停滞のために大幅に積み上がった前年度繰越額の有効利用を図る観点から意欲的な予算額を計上していたところ、講演会の追加開催などに努めたが、オンライン活用による効率化もあり、予算額と決算額に相当の乖離が発生した。

1. 通常総会の開催

- 2023年2月18日(土)10時30分から、明治屋ホールにおける対面方式での会議とオンライン(Zoom)会議を組み合わせて開催。2022年度の事業報告及び収支決算報告、監査報告、2023年度の事業計画案及び収支予算案について審議を行った。

2. 理事会の開催

- 2023年1月29日(日)、5月13日(土)、7月2日(日)、9月10日(日)、12月3日(日)の計5回、何れもオンライン(Zoom)会議により、2023年度通常総会の議事事項の検討、講演会等支部行事の運営、会員への情報提供方法のデジタル化、本部及び関係組織との連携等について審議を行った。

3. 講演会の開催

- 会員への情報提供、知識の向上等を目的として、以下の3回の講演会を何れも対面方式とオンライン方式を組み合わせて開催した。

① 第1回講演会

- 2月18日(土)通常総会に引き続き、北海道大学大学院農学研究院副研究院長・ディスティン グイッシュトプロフェッサー 野口 伸先生(1985年北大農業工学科卒・1990年北大大学院農業工学専攻博士課程修了)を講師として講演会を開催した。
- 『農業の未来を拓くロボティクス技術』を演題として、農業用ロボットスマート農業技術の開発状況、北大スマート農業教育研究センターにおける取組等を紹介いただいた。
- 参加者は、会場参加34名、オンライン参加50名(登録者)であった。講演会后、講師を囲んで昼食会を開催した。

② 第2回講演会

- 8月5日(土)、ミウラ・ドルフィンズ セミナールーム(東京都渋谷区千駄ヶ谷)において、国立研究開発法人産業技術総合研究所生命工学領域の鎌形洋一先生(1981年北大農芸化学科卒、北大客員教授)を講師として講演会を開催した。
- 『微生物から見える私たちの世界』を演題として、環境に存在する微生物と人間生活の関わりなどについて微生物研究の歴史にも触れながら解説いただいた。
- 参加者は、会場参加20名、オンライン参加34名であった。講演会后、講師を囲んで講演会を開催した。

③ 第3回講演会

- 11月24日(金)、学士会館(東京都千代田区神田神保町)において、北海道大学名誉教授の小林泰男先生(1979年畜産学科卒、ムーンショット研究プロジェクト元プロジェクトマネージャー)を講師として、北大獣医学部同窓会関東支部との共催で講演会を開催した。
- 『ルーメンメタン削減と食料増産をめざす新しいプロジェクト研究』を演題として、地球温暖化問題で大きな課題となっている牛からのメタン発生を大幅に削減する技術の開発プロジェクトの成果を中心に持続性の高い畜産のあり方などについて解説いただいた。
- 参加者は、対面38名(うち農学11名)、オンライン17名(うち農学17名)であった。講演会后、講師を囲んで懇親会を開催した。

4. 修了・卒業祝賀会への支部代表の派遣

- 3月23日(木)の修了・卒業祝賀会については、今回、東京支部代表の派遣要請はなかった。

5. 関西支部主催「市民公開フォーラム」への支部役員派遣

- 関西支部が主催する「市民公開フォーラム」が6月17日(土)に開催がされ、櫻田理事長、溝口理事が参加した。

6. 本部2023年度役員・代議員集会、親睦園遊会、遠友夏学校

- 6月23日(金)及び24日(土)に本部行事として役員・代議員集会、親睦園遊会、遠友夏学校が開催され、櫻田理事長、別所理事、山本理事、溝口理事、松沢顧問が参加した。

7. 「札幌アルムニ・レクチャー」への講師派遣

- 北大農学研究院主催の「札幌アルムニ・レクチャー」が6月23日(金)に開催され、東京支部から別所理事が講師として対応。農学部2年生を主な対象として、「世界と日本の食料安全保障」と題して、行政情報を中心に食料や農業の問題について講義を行った。

8. 英文Bushido等の寄贈活動

- 農学部に進学する「新渡戸カレッジ」の学生および院生(合計約30名)を対象として、新渡戸稲造の世界的な名著である「Bushido」、内村鑑三の「代表的日本人」「後世への最大遺物」を寄贈した。

9. 札幌農学校普及委員会の活動

- 「札幌農学校」出版助成・普及頒布事業として、昨年度の増刷分を利用し、同著書の普及頒布活動を継続的に行った。具体的には、松井理事長(本部)による大学院1年生を対象とした講義(約180部)、横田副学長による各学部の職員研究のための講義(約30部)等に活用いただいた。

10. 企画・交流委員会の活動

- 会員間の相互交流及び知識の向上等を目的として講演会等の活動の活性化に努め、講演会の回数を前年より1回増やして3回開催するとともに、新型コロナウイルス感染症の5類移行を踏まえ、講演会と併せて、講師を囲んで懇親会を開催するなど、会員交流の深化に努めた。
- 講師及び講演内容の選定に当たっては、社会課題として話題となっているテーマが取り上げられるよう工夫した。

11. 情報委員会の活動

- 支部行事に多様な会員がより参加しやすいよう、通常総会及び講演会の開催に当たり、オンライン方式を組み合わせた開催に努めた。
- 会員への情報発信の充実を図るため、東京同窓会情報処理委員会と連携を図り、札幌農学同窓会東京支部ホームページ、メールマガジンを活用とともに、支部主催行事の参加案内等の機会を活用して東京支部会員のメールアドレス登録数の拡大に努めた。

12. 会員名簿の整備への協力

- 東京支部会員について移動や消息が把握された都度、本部への情報提供を行い、「札幌農学同窓会会員名簿」の正確性の向上に協力した。

13. 懇親会

- 新型コロナの感染状況等を踏まえ、講演会の開催機会を利用して懇親会を行った。具体的には、通常総会の時点では着座形式の昼食会として開催するとともに、5類移行後は、立食パーティ形式で実施した。

14. 会員交流サロンの設置

- 札幌農学同窓会東京支部会員が自由に参加し、情報交換、意見交換を行う場として、「会員交流サロン」をオンラインで設置することとし、まず、発起人がFacebookにより情報発信を行うこととなった。

15. その他

- 北大東京同窓会行事への参加等、各種関係団体との連携を図った。

2023年度 一般会計収支決算(2023年1月1日～12月31日)

(単位：円)

科目	2023年度予算額	2023年度決算額	備 考
I 収入の部			
1 交付金	2,200,000	2,200,000	本部からの交付金
2 寄付金	0	0	
3 利息	40	43	
4 前年度繰越	4,359,158	4,359,158	
収入合計	6,559,198	6,559,201	
II 支出の部			
1 事務諸費	280,000	121,108	
(1)消耗品費	50,000	3,945	プリンターインク代
(2)通信運搬費	50,000	504	はがき代
(3)外注費	70,000	44,374	講演テープ起こし
(4)会議費	80,000	27,921	監査時会議費、理事会等Zoom費用
(5)雑費	30,000	44,364	「フロンティア」誌への広告賛助及び北大関西同窓会の年会費他
2 事業活動費	3,910,000	1,438,075	
(1)諸謝金	180,000	66,822	講演会等の講師謝礼
(2)資料作成印刷費	550,000	145,259	総会案内はがき印刷・宛名シール、講演会資料印刷
(3)通信運搬費	900,000	405,678	総会案内はがき発送
(4)借料	850,000	272,626	総会及び講演会(2月、8月、11月)の会場費等
(5)名簿関係費	30,000	0	
(6)交通費	600,000	335,651	講師旅費、役員日額旅費等
(7)出版・領布関係費	200,000	0	今年度は、前年度増刷分に対応
(8)英文Bushido等寄贈	200,000	0	今年度は、在庫分に対応
(9)オンライン化関係経費	400,000	212,039	ホームページ更新経費、オンライン会議運営経費等
3 寄付金		1,500,000	北大(北海道ワイン教育研究センター)への寄付
4 予備費	6,000	0	
支出合計	4,196,000	3,059,183	
III 当期収支差額	2,363,198	3,500,018	

2023年度 特別会計収支決算(2023年1月1日～12月31日)

(単位：円)

科目	2023年度 予算額	2023年度決算額	備 考
I 収入の部			
1 懇親会等会費	580,000	194,500	2500円×27名 4000円×18名、5000円×11名
(1)通常総会	100,000	67,500	
(2)講演会	480,000	127,000	
2 利息	0	0	
3 前年度繰越	81,806	81,806	
収入合計	661,806	276,306	
II 支出の部			
1 懇親会等経費	580,000	189,221	総会後の懇親会 講演会後の懇親会 (2回)
(1)通常総会	100,000	75,900	
(2)講演会	480,000	113,321	
2 振込手数料	1,000	880	
支出合計	581,000	190,101	
III 当期収支差額	80,806	86,205	

監査報告

一般社団法人札幌農学同窓会東京支部の2023年度の事業報告及び収支に関する決算書類を監査した結果、その内容は適正であると認める。

2024年1月7日

監事 大島 稔彦



監事 坂倉 雅夫



【第3号議案】

一般社団法人 札幌農学同窓会東京支部 2024年度事業計画(案)

札幌農学同窓会東京支部は会員相互の交流及び知識の向上を図るため、2024年度において次の事業を行う。

1. 通常総会の開催

- 2024年2月17日(土)13時00分から、TKP東京駅カンファレンスセンターにおいて、対面方式とオンライン(Zoom)方式を組み合わせて開催する。

2. 理事会の開催

- オンライン方式での開催を基本としつつ、必要に応じて対面方式での開催も組み合わせて、概ね2ヶ月毎に適宜開催する。なお、第1回会合は、総会準備のため2024年1月14日に開催。

3. 講演会等の開催

- 会員への情報提供の機会として、時宜に適したテーマによる講演会を積極的に実施することとし、第1回目を2月17日(土)に開催する通常総会の終了後に、北海道大学大学院農学研究院曾根輝雄教授(応用分子微生物学研究室)を講師として招聘して開催する。
- また、例年秋期には獣医学部同窓会関東支部と共催講演会を開催しており、今年度は、獣医学部側が講師の選定等を行うこととなっている。
- さらに、講演会の開催に際しては、できるだけ懇親会を併せて実施し、会員交流の促進に努める。
- なお、会員の積極的な参加を喚起するため、昨年度から対面方式とオンライン方式を組み合わせ実施しており、今年度も同じ方式を基本に開催する。
- そのほか、これまで「女性同窓生オンラインお茶会」、「会員交流サロン」など、オンラインを活用した会員交流を進めてきているが、引き続き、相互交流機会の設置に努める。

4. 各種行事への支部代表の派遣

- 3月下旬に予定されている修了・卒業祝賀会に、本部からの要請があれば、東京支部代表を派遣する。
- 毎年6月に開催されている関西支部主催の「市民公開フォーラム」に役員を派遣し、支部間の交流を図る。
- 北大農学研究院主催の「札幌アルムニ・レクチャー」について、必要に応じて、東京支部代表の派遣を検討する。

5. 各委員会の活動

① 札幌農学校普及委員会

- 札幌農学校」出版助成・普及頒布事業として、一昨年度の増刷分を有効活用し、入学・進学時の学生、院生を対象として毎年4月に一括寄贈する。
- 農学部に進学する「新渡戸カレッジ」の学生および院生（合計約30名）を対象として、新渡戸稲造の世界的な名著である「Bushido」、内村鑑三の「代表的日本人」「後世への最大遺物」を寄贈する。

② 企画・交流委員会

- 支部活動の中核となっている講演会の開催について、会員の相互交流、知識の向上に貢献できるよう、企画及び講師の選定等に努めるとともに、支部活動の活性化に向けて、各種行事の機会を利用して、若手会員や女性会員の参加を促していくことに加え、農学部の特色を生かした新規行事の企画を検討する。
- 本部や関係団体の主催行事への支部代表の派遣を通じて組織間の連携を図る。

③ 情報委員会

- 東京同窓会情報処理委員会と連携を図り、札幌農学同窓会東京支部ホームページの充実を図るとともに、会員への情報発信を拡充するため、各種行事のオンライン化・ハイブリッド化、メルマガの積極的配信等を進める。
- 東京支部会員のメールアドレス登録数の拡大を図るとともに、会員連絡方法の電子化に必要な会員名簿整備のため、本部情報担当理事との連携を強化する。

6. その他

① 会員への案内・連絡のオンライン化

- 会員への案内・連絡については、メールマガジン及びホームページを通じたオンライン化を進めてきているが、総会の開催連絡についても、案内文書の郵送については、2024年度までとし、2025年度以降は、ホームページへの案内掲載、メルマガでの連絡等に集約する。

② 日当旅費の支払い対象の拡大

- 支部活動に関する会員の役務の提供に対しては、本部から示された考え方に沿って、総会、理事会・監査、講演会等の支部行事に参加する役員・顧問に日当旅費(2千円)を支払っているが、その支払い対象を支部行事の実施のために必要な作業に協力いただいた役員・顧問以外の会員にも拡大する。
- その際、日当旅費を超える交通費を要する場合については、日当旅費に代えて当該交通費を支部が負担する。
- 上記の考えについては、2024年度以降も支部としての事業実施に当たっての考え方として継続する。なお、日当旅費の金額については、本部と同水準を原則とする。

③ 本部の名簿整備への協力

- 東京支部会員の移動・消息情報の本部への連絡等を通じ、「札幌農学同窓会員名簿」の正確性向上に協力する。

④ 関係団体との連携

- 北大東京同窓会等の各種関係団体との連携を図る。

2024年度 一般会計収支予算案(2024年1月1日～12月31日)

(単位：円)

科目	2023年度予算額	2023年度決算額	2024年度予算額	備考
I 収入の部				
1 交付金	2,200,000	2,200,000	2,200,000	本部からの交付金
2 寄付金	0	0	0	
3 利息	40	43	40	
4 前年度繰越	4,359,158	4,359,158	3,500,018	
収入合計	6,559,198	6,559,201	5,700,058	
II 支出の部				
1 事務諸費	280,000	121,108	280,000	
(1)消耗品費	50,000	3,945	50,000	
(2)通信運搬費	50,000	504	50,000	
(3)外注費	70,000	44,374	70,000	テーブル起こし費用等
(4)会議費	80,000	27,921	80,000	会議費、Zoom費用等
(5)雑費	30,000	44,364	30,000	「フロンティア」誌への広告賛助及び北大関西同窓会の年会費他
2 事業活動費	3,910,000	1,438,075	3,280,000	
(1)諸謝金	180,000	66,822	180,000	講師謝金等
(2)資料作成印刷費	550,000	145,259	300,000	講演会資料印刷等
(3)通信運搬費	900,000	405,678	500,000	案内・資料の送付等
(4)借料	850,000	272,626	600,000	総会・講演会の会場費等
(5)名簿関係費	30,000	0	200,000	支部会員リストの整理等
(6)交通費	600,000	335,651	600,000	講師旅費、役員日額旅費等
(7)出版・領布関係費	200,000	0	200,000	「札幌農学校」の普及領布
(8)英文Bushido等寄贈	200,000	0	200,000	農学部に進学する新渡戸カレッジ学生等を対象に配布
(9)オンライン化関係経費	400,000	212,039	500,000	ホームページ更新経費、オンライン会議運営経費等
3 寄付金		1,500,000	0	
4 予備費	6,000	0	6,000	
支出合計	4,196,000	3,059,183	3,566,000	
III 当期収支差額	2,363,198	3,500,018	2,134,058	

2024年度 特別会計収支予算案(2024年1月1日～12月31日)

(単位：円)

科目	2023年度 予算額	2023年度決算額	2024年度予算額	備 考
I 収入の部				
1 懇親会等会費	580,000	194,500	720,000	6000円×40名 6000円×40名×2回
(1)通常総会	100,000	67,500	240,000	
(2)講演会	480,000	127,000	480,000	
2 利息	0	0	0	
3 前年度繰越	82,686	81,806	86,205	
収入合計	662,686	276,306	806,205	
II 支出の部				
1 懇親会等経費	580,000	189,221	720,000	総会後の懇親会 講演会後の懇親会 (2回)
(1)通常総会	100,000	75,900	240,000	
(2)講演会	480,000	113,321	480,000	
2 振込手数料	1,000	880	1,000	
支出合計	581,000	190,101	721,000	
III 当期収支差額	81,686	86,205	85,205	

(参考1) 札幌農学同窓会東京支部役員・顧問(2024年度体制)

		役 職	氏 名	学 科	卒 業 年		在任 期間	備 考	
1	役 員	理 事	理事長	櫻田 巧	農業経済	S58	1983	17	
2			副理事長 総務・会計、普及委員会担当	別所 智博	農芸化学	S56	1981	3	本部代議員
3			副理事長 情報、企画・交流委員会担当	高木 忍	農芸化学	S58	1983	8	
4			総務・会計委員長(事務局長)	尾嶋 好美	畜産	H05	1993	7	本部代議員
5			総務・会計委員会(会計)	榎 裕之	森林科学	H09	1997	6	
6			総務・会計委員会(会計)	石井 貴史	森林科学	H26	2014	2	
7			総務・会計委員会(事務局)	日向 潔美	森林科学	H20	2008	2	
8			札幌農学校普及委員長	山本 幸一	林産	S49	1974	13	本部代議員
9			札幌農学校普及委員会	春名 敏弘	農業経済	S47	1972	8	
10			情報委員長	溝口 尚重	農学	H07	1995	8	本部代議員
11			情報委員会	石崎 英治	森林科学	H12	2000	3	本部代議員
12			情報委員会	水上 裕之	農芸化学	S54	1979	4	
13			企画・交流委員長	高橋 寛	農業工学	S62	1987	9	本部代議員
14			企画・交流委員会	西野 順子	農芸化学	S62	1987	8	本部代議員
15			企画・交流委員会	関口 高士	林学	H02	1990	4	
16			企画・交流委員会	ブエ 真奈美	畜産	H04	1992	2	
1	監 事		大島 稔彦	農業生物	S45	1970	11		
2			坂倉 雅夫	農業工学	S48	1973	24	前理事	
顧問 (理事会参加)		助言	松沢 幸一	農芸化学	S46	1971		前理事・本部監事	
		本部情報伝達	梶谷 辰哉	林学	S50	1975		前理事長	

(参考2) 会費納入状況

会費納入状況 (年度別、支部別)

年度	全 体					東京支部			関西支部		
	全会員数	住所不詳者	差引	会費納入者	会費納入率	全会員数	会費納入者	会費納入率	全会員数	会費納入者	会費納入率
17	13,526	3,423	10,103	2,344	23.20%	3,751	876	23.35%	627	123	19.62%
18	13,692	3,811	9,881	2,116	21.41%	3,624	784	21.63%	607	109	17.95%
19	13,705	4,006	9,699	2,182	22.49%	3,572	807	22.59%	593	110	18.54%
20	13,658	4,218	9,440	2,096	22.20%	3,511	802	22.84%	564	118	20.92%
21	14,107	4,925	9,182	2,009	21.87%	3,441	744	21.62%	534	117	21.91%
22	14,257	5,264	8,993	1,860	20.68%	3,362	683	20.31%	525	99	18.85%
23	14,392	5,431	8,961	1,835	20.47%	3,341	678	20.29%	535	107	20.00%
24	14,546	5,610	8,936	1,725	19.30%	3,350	604	18.03%	552	99	17.93%
25	14,695	5,737	8,958	1,669	18.63%	3,326	612	18.40%	565	88	15.57%
26	14,861	5,685	9,176	1,701	18.53%	3,400	614	18.05%	611	107	17.51%
27	14,970	5,606	9,364	1,708	18.24%	3,476	645	18.55%	650	109	16.76%
28	15,105	5,810	9,295	1,681	18.08%	3,447	621	18.01%	652	107	16.41%
29	15,247	5,998	9,249	1,609	17.39%	3,465	579	16.70%	661	117	17.70%
30	15,375	6,146	9,229	1,648	17.85%	3,415	591	17.30%	677	114	16.84%
2019	15,535	6,406	9,129	1,533	16.79%	3,362	538	16.00%	676	106	15.68%
2020	15,663	6,665	8,998	1,537	17.08%	3,335	542	16.25%	676	107	15.82%
2021	15,826	6,917	8,909	1,634	18.34%	3,311	594	17.94%	674	117	17.35%
2022	15,970	7,265	8,705	1,819	20.89%	3,258	704	21.60%	661	140	21.18%
2023	16,118	7,393	8,725	1,756	20.12%	3,204	655	20.44%	645	132	20.46%

注1) 「会費納入者」には、5年まとめ払いなどにより過年度に納入済みの会員を含む。

注2) 基準日が、年度により、同窓会員名簿作成時(10月)或いは年度末(12月末)と異なっている。

また、特別会員を除いて計算した年度もあるため、あくまで参考資料とする。

東京支部納入率（2023年12月31日 現在）

	県名	自宅	勤務先	自宅+勤務先	自宅納入者	勤務先納入者	納入者(自+勤)	納入率
1	新潟県	53	2	55	6	0	6	10.90%
2	長野県	74	4	78	15	0	15	19.23%
3	茨城県	240	35	275	53	1	54	19.63%
4	群馬県	58	4	62	12	1	13	20.96%
5	栃木県	94	4	98	18	0	18	18.36%
6	埼玉県	381	16	397	82	0	82	20.65%
7	千葉県	417	11	428	85	1	86	20.09%
8	東京都	884	137	1021	196	8	204	19.98%
9	神奈川県	557	24	581	126	2	128	22.03%
10	山梨県	32	1	33	9	0	9	27.27%
11	静岡県	165	11	176	40	0	40	22.72%
12G		2955	249	3204	642	13	655	20.44%

曾根輝雄先生のプロフィール

曾根輝雄(そねてるお)

略歴

1992年 北海道大学農学部農芸化学科卒業

1994年 北海道大学大学院農学研究科修士課程修了

1997年 北海道大学大学院農学研究科博士課程修了

1997年～1998年 University of British Columbia Postdoctoral Fellow

2001年 北海道大学大学院農学研究科助手

2003年 北海道大学大学院農学研究科講師

2007年 北海道大学大学院農学研究科准教授

2017年 北海道大学大学院農学研究院教授(現職)

連携研究部門 連携推進分野 応用分子微生物学研究室

2023年 北海道大学大学院国際食資源学院長

2023年 北海道大学北海道ワイン教育研究センター長

専門分野

応用微生物学、植物保護科学

➤ 北海道ワイン教育研究センター

- 旧昆虫学及養蚕学教室、旧昆虫標本室を改装し、2023年に新設された研究所。
- 北海道は国内第3位のワイン産地。
- ワインを北海道の地域の持続性を高める鍵と位置づけ、環境、ブドウ栽培、醸造、マーケティングに至る北海道のワインのバリューチェーンにおける多様な問題に対して、総合大学である北海道大学の強みを活かし、様々な学問分野の研究力を結集して解決を目指す。(曾根センター長のご挨拶より)



改装された旧昆虫学及養蚕学教室
出所：北海道大学リサーチタイムズ

➤ 国際食資源学院

- 地球規模の食資源問題に対し、解決策を提示し実践できる、行動力・融合力・組織力・基礎的な問題解決力を備えた国際的リーダーとなる人材の養成を目的とした新設の大学院。
- 2017年に修士課程、2019年に博士課程を設置。
- 文理融合型の学際的教育を英語で行い、国内外でのフィールドワークも実施。

